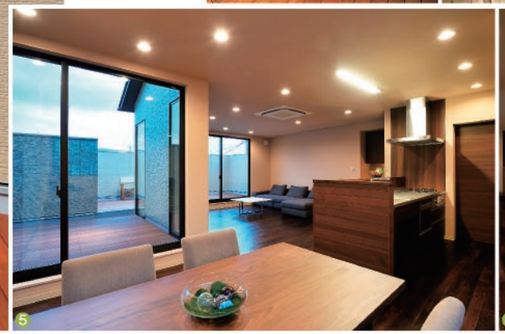
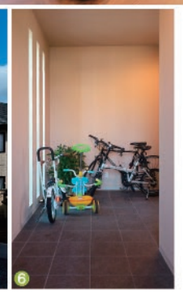
ほどよい距離で互いの気配を感じながら、3世帯がそれぞれの暮らしを愉しめる家。

子連れの友人が集まる時は、デッキで遊ぶ子どもたちを眺めつつ、大人は部屋でのんびり過ごせる。





❶8畳のスカイデッキバルコニーの奥には、家族4人のベッドを並べた主寝室がある。「子どもたちが昼寝している時も、バルコニー越しにリビングから様子を伺えるので安心」。❷星空を眺めながら夫婦2人でおしゃべりしたり、湯上がりにひとりでのんびり涼んだり…。「夜、部屋のなかが明るくても、バルコニーで寛げます」。❸キッチン奥には家具職人が作った機能的なカウンターのあるパソコンコーナーも。❹手洗いスペースの脇に設けた、バッグ置き場ともなるガラスの棚。❺2階のスカイデッキバルコニーは、周囲に高いビルやマンションがないこともあり、塀の高さが抑えられている。視界に入る空が広く、2階だからこその開放感を味わえる。❻「今は仕事が忙しくてなかなか乗る機会がなくて」と、話すご主人の趣味のひとつが自転車。「時間に余裕ができたら子どもたちと一緒に自転車を楽しみたい」と、玄関土間は数台の自転車を余裕で飾れる六畳の広さを確保した。❼岡山市北区の閑静な住宅街に佇むS邸。

生家である二世帯住宅を、夫妻と四歳の長男、一歳の長女、ご主人の両親と妹、祖母という八人が同居する三世帯住宅に建て替えたSさん。ハウスメーカーや地域の工務店を訪ねたがデザイン性に納得できず迷っていた時、設計事務所に勤務する友人から紹介されたのが『コムハウジング』だったという。ご主人は、その個性的でセンスの感じられる家づくりに共感し、『コムハウジング』の家を何軒も見学することに。そのいずれもで、住まう人々が満足そうに話す様子を目にし、「家を建てたご家族から信頼を得ていると実感したことが決め手」となった。

そんなご主人が描いていたのは、「三世帯が生活のすべてを一緒にするのではなく、それぞれ独立した家庭でありながら、助け合える。そんな『程よい距離』を保てる家」。さらに、「以前、一階と二階に分かれて同居していた両親と祖母が、気兼ねなく同じフロアで暮らせるようにするためにはどうしたらいいのだろうと考えていました。コムハウジングの『中庭を囲んで部屋を配置してみては』という提案は、ぴったりでしたね」とも。

そうして昨年十二月に完成した当邸は、一階が中庭を挟んで両親と祖母の部屋を配置した4LDK、どことなく懐かしいクリのアンティークフローリングを敷き詰めた二階は、二つのスカイデッキバルコニーを配した1LDKという間取り。「入居から八か月が経った今ではずいぶん慣れてしまいましたが、以前に住んでいた家は昼間でもレースのカーテンが必要だったので、最初はカーテンを引かなくてもよい生活がとても新鮮で、感動したのを覚えています」とご主人。夫妻揃って、リビングのソファから眺めることのできる、青空や星空を愉しんでいるとか。

ほかにも、家族みんなの快適な暮らしを考慮した工夫が、邸内随所に施されている。そのひとつが、世帯の独立性を保つために、玄関から直で二階に上がれるよう配置した階段。また、階段室から二階へと入る扉の横には、「子どもたちが手洗いの習慣を身に着けられるように」と、手洗い専用のスペースも。アンティークカラーのタイルをあしらったこのスペースは、しゃれたインテリアともなっている。荷物の多い両親と祖母のために、クローゼットや納戸、小屋裏収納など、収納スペースも充実させた。「キッチンの背面にある収納棚が大きいので、すべて納まり、いつもすっきりと片付けられる」と、奥さまも満足しているそう。

家族と暮らす安心感と、三世帯八人が自分らしく過ごせる独立感。ふたつを両立できる住まいで、それぞれが充実の日々を過ごしている。

感性ある住まい　やすらぎの住宅
com HOUSING
50th ANNIVERSARY
岡山市北区十日市中町6-22
フリー 0120-67-2102　fax.086-223-2103
◆営／10:00〜17:00
◆休／水曜・祝日
※オープン時間外もご連絡をいただければ相談に応じます。
http://www.comhousing.com
※「オセラ」掲載のバックナンバーはホームページでご覧いただけます。